

第 598 回：レポートのアイデア探し (MI)

こんにちは。今日は参考文献を使った、レポートのアイデア探しについてお話します。参考文献は「レポートを書くときに引用するもの」だと思われがちですが、実はレポートのアイデア探しにもピッタリです。アイデアさえ見つければ、レポート執筆のハードルはグンと下がるでしょう。今回はシラバスに記載されている指定図書を起点に考えてみます。

初めにシラバスで指定図書を確認します。指定図書のない科目もありますが、ほとんどの授業では指定されており、授業内で適宜紹介される場合も多いです。指定図書は、入門編であったり、授業内容に深く関連しているものであったりと様々ですが、ぜひ一度手に取ってみてください。期末になると一斉に貸出争奪戦が始まることもあるので、とにかく早めに読んでみてください。

次に、三つの観点から指定図書を利用します。まず一つ目は、その分野の基本を知ることです。指定図書に入門書があればラッキーです。基本的な内容が網羅されていますし、初学者向けなので、レベルにあった他の文献をたくさん教えてくれます。また、指定図書が入門書でなくても、図書館等であれば本棚の近くに入門書があるので、探してみてください。そして、本を返却する前に、必ずその指定図書の参考文献をチェックしましょう。膨大な数の文献が並んでいるはずですが、頭から確認し、気になるタイトルは図書館の蔵書検索をしましょう。大抵のものはあります。また、著者も要チェックです。参考文献一覧をよく見ると、何度も見かける名前が出てきます。つまり、その人はその分野の研究を積

極的に行っている、ということです。直接その人の名前で検索するのもお勧めです。このように、自分がレポートを書こうとしている分野の基本や、最新の研究を知れば、何か疑問点が出てくるかもしれません。

二つ目の観点は、とにかくその分野に関するたくさんの文献を知ることです。一点目と重なる部分もありますが、ある文献を読む→参考文献を見る→その中で気になった文献を読む……のサイクルを繰り返すと、ぼんやりとしていた授業内容が輪郭を持つようになります。自分に知識があるほど授業も面白いでしょうし、気になる点も出てきやすくなります。

三つ目の観点は、お手本探しです。レポートで書きたい内容は何となく決まったけど、どのように書けばいいのか全く分からない、という場合は、レポート執筆の本もお勧めですが、先行研究も大変参考になります。自分が書きたい分野に即しているので、参考文献の書き方やレポート構成を参考にすることができます。また、内容そのものも参考になるかもしれません。

1・2年生がレポートを書く場面は、学科基礎科目や全学共通科目のレポート課題が多くを占めると思います。卒業に必要な単位数を満たすために多くの授業を取る必要がありますが、必ずしも全てが自分の興味と完全に一致するわけではないと思います。しかし、最終的には能動的にある程度まとまった文章を書かなくてはなりません。レポートは取っ掛かりさえあれば書けるので、ぜひ早め早めにアイデアを探してみてください。